

南区自立支援連絡協議会  
第9回南区ささえあいのまちづくり事業

**参加無料**

先着150名に素敵な  
プレゼントあり

～地域で育ちあう～

# みんなの学校

大ヒットドキュメンタリー映画上映会

**2018年2月10日(土)**

受付：午後0時30分～

開演：午後1時～午後3時45分

会場：南区役所 2階 講堂

(公共交通機関でお越しください)

**【映画 “みんなの学校”】 13:10～14:56**

不登校も特別支援学級もない、普通の公立小学校が舞台。子どもたちと教員、保護者、地域の人々が学び合い成長していくドキュメンタリー映画。(日本語字幕あり)

**【活動状況等】 15:00～15:40**

地域で活動されている方々より (手話通訳・要約筆記あり)



©関西テレビ放送



主催：南区障害者基幹相談支援センター、南区役所、南保健所、南区社会福祉協議会

協力：東亜合成株式会社名古屋工場

問い合わせ先：南区役所福祉課 TEL 052-823-9392 FAX 052-811-6366



# すべての子供に居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる発達障害がある子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所を見つけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。



## 学校が変われば、地域が変わる。そして、社会が変わっていく。

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちにももちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるように育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よここび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。



驚いた！ ここには、ありのままの公立小学校の魅力が、大胆に惜し気もなく躍動している。人間が発達可能体であることを、限界なしに教えてくれる。それにしてもスゴイ記録映画が完成したものである。学校と教育の未来に、希望が湧く映画である。

——尾木直樹 (尾木ママ) 教育評論家、法政大学教授

一緒に学ぶという選択肢を考えられなかった人たちに、こんな方法もあるんだということを知ってほしいと思いました。

——20代・女性 (大学院生)

平成25年度(第68回)文化庁芸術祭大賞 受賞理由  
他の地域では厄介者扱いされていた転校生が、教師と同級生、そして地域が包み込むことで、素直で心優しい子供に成長していく姿は、見ている者の心を熱くする。大空小学校の試みは、上からの教育改革とは一線を画す、現場からの教育改革でもある。

子供たちひとりひとりが能力に応じて大切にされていること、手がかかる子もかからない子もいるけど平等に愛されていること、そういう学校が地域の中で理解されて存在していること、それらのことにとっても感動しました。

——細川貂々 (漫画家・イラストレーター)

minna-movie.com

©関西テレビ放送

### 南区障害者自立支援連絡協議会とは…

南区内に暮らす障がいのある人たちが、その人らしく地域の中で豊かに暮らしていくことができるよう障害福祉に関わる機関及び障害者団体等がお互いに協力し合い、障がい児・者福祉の向上を目指し、福祉の輪が広がることを目指して運営されています。

◎ ひまわり横丁 ※ホールにて  
南区の授産製品販売。(縫製品・刺し子製品・さをり製品・パウンドケーキ・ジャム等)

◎ 福祉関係事業所連絡会コーナー  
南区の福祉事業所の紹介など

◎ おもちゃ図書館 ※第2会議室にて